

平成30年度 「こども未来会議室」 報告書



船橋市

もくじ

はじめに 1

概要 1

市民団体の紹介 4

提案と市の回答 5

1. 安全・安心・便利なまちに 5
2. 船橋を知ってもらおう 6
3. 子育てしやすいまちに 8
4. 高齢者、障害者、外国人の方に優しいまちに 9
5. 環境に優しく綺麗なまちに 11
6. スポーツをより身近に 12
7. より良い公園に 14
8. 学校をより良い環境に 15
9. 北部地域を活気づける 16
10. 海老川を整備し有名に 18

実現した提案 19

はじめに

「こども未来会議室」は、今年度で5回目を迎えました。市内の中学2年生を対象として、夏休み期間中、全4回にわたり、日頃から船橋市のまちづくりのために活動してくれている若い世代の市民団体の皆さんと連携して開催できたことは、まちづくりの上でも大きな意味を持っています。

各学校の代表として参加してくれた皆さんからは、中学生ならではの柔軟な発想から様々な提案をいただきましたが、大人では気づかない新しい提案や、船橋の未来を思う提案など、いずれも素晴らしいものばかりでした。

私は、この「こども未来会議室」を通して、将来を背負って立つ皆さんが、各学校で船橋のことを真剣に考えて話し合いをしてくれたことこそ、何より貴重な財産になると確信していますし、だからこそ皆さんからの提案を大切にしていきたいと思っています。

皆さんからいただいた素晴らしい提案に対して、市としてどのようなことが実現できるのか、関係部局と協議を重ねてこの報告書を作成しましたので、中学生の皆さん、ご家族の皆さんにもぜひ読んでいただければ幸いです。

中学生の皆さん素晴らしい提案をありがとう！

船橋市長 松戸 徹

概 要

1 名称

「こども未来会議室 ～船橋の未来に“たね”をまこう～」

2 目的・運営

子供たちと市長が船橋の将来を語り合う場「こども未来会議室」を開催しました。これは、船橋市の現状を子供たちに伝え、まちづくりを意識してもらうとともに、将来を見据えた意見交換を行い、市政運営に子供たちの視点を活かしていくことを目的として開催したものです。市職員と市内の関係団体（さざんか募金運動推進協議会、船橋商工会議所青年部、船橋法人会青年部会、船橋青年会議所）による「こども未来会議室プロジェクトチーム」を立ち上げ、企画・運営をしました。

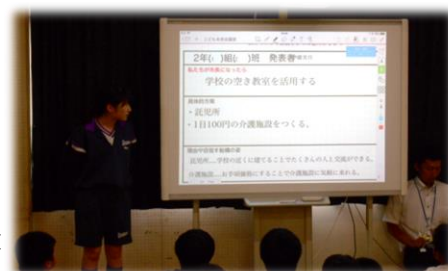
3 対象及び人数

対象：市内28中学校の2年生（市立27校、私立1校）

人数：各校2名

4 事前授業

「こども未来会議室」に参加する準備として、全市立中学校で「事前授業」が行われました。



古和釜中学校の事前授業の様子

この「事前授業」では、こども未来会議室のテーマ【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】について話し合いが行われました。

全員が参加することによって、色々な意見がでましたし、一人ひとりが船橋市民であることを自覚して、地域の発展にかかわる意欲を持ってもらうことができたと思います。

この「事前授業」でまとめられた提案は、「こども未来会議室」に参加する代表生徒に託され、市長にどのようにプレゼンテーションするか検討がされました。

5 実施内容

・第1部 テーマに沿った意見発表 【第1会議室】

【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】というテーマについて、各学校で話し合った結果を代表生徒から直接市長に向けて発表がありました。

学校ごとに発表方法を工夫し、緊張しつつも堂々と発表してくれました。

「市民の日を制定します!」、「神社仏閣スタンプラリーを行います!」、「海老川を有名にします!」といった船橋により愛着を持ってもらうための提案や地元愛に満ちた提案が多くありました。

他にも、「道路を整備します!」、「スポーツができる場所を増やします!」といった過去にも提案があった意見も含め、さまざまな提案が市長に伝えられました。発表後は各学校から出た提案を振り返り、市民団体の方々と交えて「まちづくり」について活発な意見交換を行いました。

市長は提案の一つひとつに対し、市の現状と今後の取り組みなどを丁寧に伝え、「皆さんが提案してくれたことについては、市でできるか、できないかを充分考えて、できるものについてはやっていきたい。」と述べました。

生徒の皆さんが発表した提案と市の回答については、5ページ以降に記載しています。

・第2部 市長室見学ツアー 【市長室】

最初に市長から各中学校の代表生徒の皆さんへ、市長室全体の案内と市長室でどのような仕事を行っているか、また、市のさまざまなことを決定する「決裁」に関する説明などがありました。

その後、一人ずつ順番に市長の椅子に座り、市長や「目利き番頭 船えもん」と一緒に記念写真を撮影しました。

代表生徒の皆さんは、市長の説明に熱心に耳を傾け、市職員でも滅多に入ることが出来ない市長室に興味津々の様子でした。



高根中学校の事前授業の様子



行田中学校の事前授業の様子



趣向を凝らした意見発表



趣向を凝らした意見発表



市長室見学ツアーの様子

6 開催日時及びブロック割

他地域の生徒と意見交換ができるよう、地域を混合し全4回開催しました。

■開催時間 13:30～16:30

■場所：市役所9階 第1会議室

開催日	第1回	第2回	第3回	第4回
	8月2日（木）	8月7日（火）	8月8日（水）	8月9日（木）
参加校 各校2名	海神中	宮本中	船橋中	湊中
	行田中	旭中	若松中	葛飾中
	飯山満中	高根中	二宮中	法田中
	三田中	八木が谷中	七林中	御滝中
	古和釜中	金杉台中	三山中	芝山中
	大穴中	前原中	高根台中	習志野台中
	小室中	（私）千葉日大第一中	坪井中	豊富中
学校数：合計28校	7	7	7	7
生徒数：合計56名	14	14	14	14



第1回開催 集合写真



第2回開催 集合写真



第3回開催 集合写真



第4回開催 集合写真

市民団体の紹介

企画・運営から携わっていただいた市民団体を紹介します

○ さざんか募金運動推進協議会

さざんか募金運動推進協議会は、各種チャリティー事業を展開したり、「育てよう美しい心」をテーマに、青少年の健全育成を推進する公益信託制度「コミュニティ・ファンド（地域基金）＝さざんかさっちゃん教育基金」の事業も行っています。船橋駅コンコースのＪＲ線と東武アーバンパークラインの間にシンボル像「さっちゃん像」があり、皆さんの「待ち合わせスポット」として、活用されています。ちなみに、この像は募金箱でもあります。



船橋市民のシンボル
「さざんかさっちゃん」

○ 船橋商工会議所 青年部

船橋商工会議所青年部は、次世代の地域経済を担う後継者の相互研鑽（けんさん）の場として、また、青年経済人として資質向上と会員相互の交流を通じ、己（おのれ）の企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

活動の中心は、あくまでも地域経済をリードする若き企業経営者の勉強の場であり、綱領・指針に則り、企業の発展と同時に、地域経済の発展を図る商工会議所活動の一翼を担うという理念のもとに活動しています。



○ 船橋法人会 青年部会

会社を経営するには切っても切り離せないのが納税（税金）です。法人会というのは、全国に１００万社の会員企業があり、「税」をキーワードに健全な会社経営、経営者育成を目指し、研修会や専門的勉強会、親睦会など各所管税務署や関係諸団体の協力を得て、様々な事業やイベントを開催しています。

その中でも、青年部会は５０歳までの経営者や次世代の企業経営者になる若者に更なるステップアップや仲間を増やし、友情を育むことを目的に掲げて地域の発展と企業の繁栄を目指し、活動している団体です。



○ 船橋青年会議所

青年会議所とは２０歳から４０歳までの青年が、明るい豊かな社会の実現を理想とし「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、青少年の健全育成、まちづくり、指導力を持ったリーダー育成を柱に社会的課題に積極的に取り組んでいます。

世界１２５か国１７万人を超える会員がいる国際的な組織でもあり、日本では全国４７都道府県の６９７地域に、約３６，０００人の会員がいます。卒業したＯＢは世界で２５０万人以上、元アメリカ大統領のビル・クリントン氏やマイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏、日本では元内閣総理大臣の小泉純一郎氏も所属していました。

船橋青年会議所では次代の社会の担い手、推進力として明るい豊かなまちづくりの実現のために、市民運動の先頭に立って活動しています。



提案と市の回答

1. 安全・安心・便利なまちに

日常生活で気になる道路環境や街路灯に関する提案や、災害への備えといった提案が今年も多くありました。提案の実現には時間を要するものも多いですが、少しずつでもすすめていきたいと思います。

「道路環境の整備をします！」【船橋中】【御滝中】【芝山中】

船橋の道路が狭い理由は「第2次世界大戦時に大きな被害がなかったために、昔のままの道が残り、その道の周りに家がたくさん建ち並んだことで道路をなかなか直せなかったこと」、「毎年約2万人の人口増加があった昭和40年代に学校などの施設整備が優先されたため、道路整備になかなかお金を使うことができなかったこと」が主に挙げられます。

今年度の具体的な提案としては、「道を広げる」、「自転車レーンの設置」、「ガードレール・カーブミラー・横断歩道・信号の設置」などがありました。

道を広げるという提案に対しては、幹線道路となる都市計画道路事業を市内10箇所で行っていますが、これらの整備は用地買収が必要なことから、膨大な事業費や沿線地権者の用地協力が必要となります。地権者との用地交渉にあたっては、代替地の確保などの難しい問題が多く、多くの時間を要しています。

自転車レーンの設置については、平成27年3月に作成した「船橋市自転車走行環境整備計画」で、路肩が広く自転車レーン型の整備が可能な路線として、12キロメートル、車道混在型の整備が可能な路線として、26キロメートル、その他自転車ネットワークを構築するため必要な補完路線として、24キロメートル整備し、合わせて約62キロメートル整備する計画になっています。その中でも自転車レーン型の整備を優先的にすすめています。

ガードレールやカーブミラーの設置については、危険と感じるところがあれば市役所に相談してもらえれば現場を確認し必要性があれば設置をすすめていきます。

横断歩道や信号の設置などの交通規制については、千葉県公安委員会で行っており、船橋警察署又は船橋東警察署を通じて要望することとなりますが、市からも要望を警察に伝えられますので、気になる場所があれば相談してください。



自転車レーン

「街灯を増やします！」【船橋中】

街灯には、市役所が設置するもの、自治会・町会が設置するもの、商店会が設置するものなどがあります。

平成27年度のこども未来会議室で「船橋のまちを明るくしてほしい」との提案を受け、「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定しました。市内の主要な道路や公共施設に面した道路などは、道路管理者が道路街路灯を設置しますので、普段生活している中で危険や不安を感じる箇所がありまし

たら、市役所に相談してください。今後も引き続き、夜間に道路が暗く危険であるなど、優先度の高い路線から整備を行っていきます。

また、船橋市内には約40,000灯の防犯灯が設置されていますが、その設置や維持管理は、地域の状況をよく知っている町会・自治会に行ってもらい、市では補助金制度を設けてその活動を支援しています。

同じく、明るい魅力ある商店会環境を作り、商店会の販売促進と消費者の利便を図るために、商店会が管理する街路灯を新設する際に補助金を出し支援しています。

「総合防災センターを設置します！」【大穴中】

防災は船橋市にとっても、とても大事なテーマのひとつになっています。

災害が起こった時に、ある1箇所に避難する方を集めて対応ができるかということ、災害時には遠くまでいけません。そのため、地震が起こってすぐに避難できるように家の近くにある133箇所の学校や公民館などを宿泊が可能な避難所としています。その避難所などに計画的に備蓄をしたり、生活用品や食料品を提供してもらうなどの協定を締結し、安全に避難生活ができる環境の整備を図っています。また、全国からの支援物資については、行田の防災備蓄センターに集めた後、そこから各避難所へ配布することを計画しています。



防災備蓄センター

2. 船橋を知ってもらう

船橋をもっとたくさんの人に知ってもらうため、船橋の伝統文化や特産品をPRするといった提案や市民の日をつくりますといった提案がありました。現在行っている事業も含めて何ができるかを検討していきます。

「市民の日をつくります！」【宮本中】

市民の日の制定については、市制施行80周年の年（昨年度）に行った市民アンケート調査で、必ずしも制定の機運が高いとは言えなかったことから見送っており、現在のところ、制定については考えていません。

今後、こうした節目の年にまた検討を行うことも考えられますが、既存の市の事業や行事などを通して、市民のみなさん一人ひとりに市への知識や愛着を深めてもらえるようなきっかけを日々つくっていくことが大切だと考えています。

「伝統文化をPRします！」【前原中】

船橋には歴史のある場所が多く、こういう提案をしてくれたことを嬉しく思います。

伝統文化をPRするため「ばか面踊りの体験」、「寺子屋学習室」、「子供に対して船橋の歴史や民話の読みきかせ」、「神社仏閣スタンプラリーの実施」などの提案がありました。

ばか面踊りについては、さらに多くの方に知っていただくよう引き続き市のホームページ等でPRしていきます。

寺子屋での学習についてですが、市内には子供達を対象にお寺での生活を学ぶ宿泊体験会を行っているお寺もありますので、船橋仏教会などを通じ提案内容をお伝えすることで、実施について検討してもらいたいと考えています。読み聞かせについては、船橋の歴史・民話を研究している団体や読み聞かせの団体に、小さい子供にわかりやすく船橋の伝統文化を伝えられる場を設けられないか働きかけてみます。

神社仏閣スタンプラリーの実施については、寺社の都合を含め実施の可能性を考えていきます。

「地産地消を推進します！」【三山中】

地産地消推進の一環として、農業についてはＪＡや果樹園芸組合と連携し、まず「船橋のなし」を３年間で市内全小学校などの学校給食に提供し、美味しい船橋の梨を知ってもらうきっかけに役立てたいと考えています。

また、何校かに梨生産者を派遣し、県内有数の梨産地である船橋の梨づくりについて児童に伝えることを計画しています。

水産業については、漁業協同組合と連携し、小学校向けの漁業体験や漁港見学、小・中学校のバザーやイベントでのホンビノス貝の浜焼き屋台の出店を、年間８０回近く実施しており、食育についても学校給食での海苔やホンビノス貝、スズキの食材提供を行い地産地消に努めています。

「特産品のＰＲを行います！」「外国の方に対して船橋のアピールをします！」【宮本中】【小室中】

船橋市の特産である食材やそれらを活用した加工食品、また市内で製造された工業・工芸品をブランド化し、ＰＲする「ふなばしセレクション」事業を行っています。外国の方に対してもこの事業を伝えていくために「ふなばしセレクション」のパンフレットには英語表記も取り入れ、活用しています。

また、東武百貨店船橋店や東京駅前にあるＫＩＴＴＥなどで催事を実施し、「ふなばしセレクション認証品」を中心に本市の特産品をＰＲしており、それ以外にも成田空港など千葉県が実施している期間限定アンテナショップにおいても、「ふなばしセレクション認証品」を一部販売しています。今後も積極的に販売機会、ＰＲ機会をとらえて事業者とも協力していきます。

さらには、船橋市の観光ＰＲドラマ「特案係」は、世界中で誰でも見られるようＹｏｕＴｕｂｅに公開し、英語字幕を付けています。

平成３０年度からは、「千葉おもてなしＳＨＯＰガイド」を千葉市と共同運用を開始しました。これは、飲食店が多言語で店のメニューを個別に作成できる機能と、飲食、小売、サービス業を１５言語で検索できる機能をあわせもつＷｅｂサイトで、外国人の受入環境整備の一環として導入しています。

アンデルセン公園では、英語、中国語、韓国語のパンフレットを用意し、地元の牧場の牛乳を使用したアイスや地元食材を生かしたジェラート（「ふなばしセレクション」２０１２年認証品）などを販売しています。

今後も、船橋市をさらにアピールできるものについて導入を検討していきたいと思います。



PRドラマ「特案係」

3. 子育てしやすいまちに

子育てしやすいまちにするために、今年も多くの提案がありました。日本全体で少子高齢化が進み、共働き世帯が増えたことなどによる社会情勢の変化の中、船橋市も様々な事業を実施しています。

「子育て支援金の給付や保育園を増やします！」【三山中】【御滝中】

子育て支援を目的とした給付金として「児童手当」があります。「児童手当」は、中学校卒業までの児童一人につき一定の金額を、児童を育てている保護者の方がもらえるお金です。この「児童手当」は、これからの世の中を背負って立つ子供たちが、元気で伸び伸びと成長することを目的として国が法律などを作り、船橋市などの地方自治体と協力して、自治体から支払っています。

今後も、国や県と協力して、皆さんの健やかな成長につながる事業を実施していきたいと思います。

船橋市では保育園などの利用希望者が増え続けており、国の基準により算出された待機児童は、平成27年に全国で2番目に多い625人となりましたが、待機児童の多いエリアを中心に保育園などの施設整備をすすめて、平成30年の待機児童は95人まで減少しています。

今後も、新しい施設を増やししながら、今ある施設の受け入れ枠を増やすなど、待機児童の解消に向け事業を実施していきます。

「児童ホームと放課後ルームを融合させた施設をつくります！」【飯山満中】

児童ホームは、18歳未満の児童であれば誰でも自由に来館して遊ぶことのできる施設です。船橋市では地域コミュニティに密着した施設となっており、必ずしも小学校の近隣にあるわけではありません。

一方、放課後ルームは授業を終えた小学生が通う施設であり、児童を預かる施設です。場所は基本的には学校の中にあるか、学校の近くにあることが多くなっています。

両施設の仕組みや目的が異なるため、融合は難しいですが、今後の運営の参考とします。



新規開設された坪井児童ホーム

「小学校の中に認定こども園をつくります！」【金杉台中】

認定こども園は、教育と保育を一体的に行う施設で、中でも、幼保連携型と幼稚園型という認定こども園の類型は、法的にも「学校」に位置付けられており、「小学校の中に認定こども園をつくる」というのは、とてもおもしろい発想だと思います。

いずれの認定こども園も、小さな子供を受け入れるために施設の面積や設備などに厳しい基準があり、船橋市の現在の小学校では、認定こども園を併設できるだけの敷地や教室を十分に確保することが非常に難しい状況ですが、今後、船橋市で広大な土地を取得し、学校と合わせて様々な施設の複合を計画するような場合などに検討します。

「産婦人科の数を増やします！」【金杉台中】

産科医や小児科医などの医師不足を船橋市だけで解消することはとても難しいことです。そのため、国や県に対し、地域医療に従事する勤務医や看護師が就労しやすい環境の整備をするるとともに、必要な医師・看護師などの確保に悩んでいる病院などにさらなる財政措置を要望しています。

「東京ジョイポリスのような施設をつくります！」【金杉台中】

東京ジョイポリス（室内遊園地）のような施設については民間の会社が作っているものであるため、船橋市内にこうした施設を作りたいという希望があれば実現の可能性があります。現在のところ具体的な予定はありません。

子育てしやすい環境づくりのための「身近な場所で子供が遊ぶことが出来る場所」については、今後も引き続き市の公共施設（児童ホームや運動施設、公園など）により充実を図っていきたいと考えています。

「小学生にキッズ携帯を貸し出します！」【飯山満中】

現在、船橋市の小学校には約33,000人の児童がいます。全員にキッズ携帯を貸し出すとしたら、相当な金額がかかってしまうため、難しいと考えています。

現在の防犯対策としては、毎年、入学前の就学児検診時に、児童全員に防犯ブザーを配布しています。

「若い人とお年寄りの方の交流が深まるイベントを開催します！」【三山中】【宮本中】

老人福祉センターで、子供陶芸教室や囲碁教室、ばか面踊りなどを通して老人福祉センター利用者と子供との交流を行っています。

また、各学校では生活科の授業で地域にお住まいの高齢者を招いて昔の遊びを紹介してもらっています。

児童ホームでも公民館と連携しハッピーサタデー事業（※）を通して高齢者との交流を行っており、今後も引き続き充実を図っていきたいと考えています。

（※）ハッピーサタデー事業・・・行政や地域の団体が協力し、「子供祭り」や「スポーツ教室」など、子供達がスポーツや文化活動を親しむために行っている事業

4. 高齢者、障害者、外国人の方に優しいまちに

まちづくりを考える中で、高齢者や障害がある方、外国人の方に対しての配慮を行うことはとても大事だと考えています。快適な生活を支えるまちづくりの一環として、様々な公共公益施設の整備を行っています。

「高齢者のために買い物をしやすくします！」【三山中】

高齢者などで重いものが持てない、お店が遠いなど、買い物にお困りのみなさんのために、日々の生活に必要な食料品や日用品を宅配してくれる店舗を掲載した「地域のお店 宅配ガイドマップ」を作成し、無料で配布しています。



また、歩行が困難な高齢者には杖やシルバーカーを給付するなど、買い物をはじめとした外出の際にお使いいただける生活用具の給付などを行っているほか、買物が困難な方のための移動支援や買い物支援の施策の検討を行っています。

「バリアフリーの推進や、障害を理解するために小中学校などで疑似体験を行います！」【七林中】

道路のバリアフリー化については、都市計画道路整備時やバス停の屋根を整備する時など、機会をとらえて実施しています。

駅のバリアフリー化については、事業者の実施事業に補助金の交付を行っています。

身体障害者福祉センターで実施している、市民を対象とした福祉体験講座や小学生を対象とした小学生福祉体験講座で、障害者などによる講話や障害体験などを通して障害者への理解と協力について学ぶ場を設けています。今後も日程や内容などを検討しながら継続実施していく予定です。

また、毎年12月の障害者週間に合わせ、障害者週間記念事業を開催し、市民の皆さんに障害に関する理解を深めて頂くための様々な体験コーナーを設けています。

市の事業ではありませんが、社会福祉法人船橋市社会福祉協議会において、車椅子、視覚障害者体験用アイマスク、高齢者疑似体験用具などを貸し出しており、市内小中学校などで疑似体験を行っています。



小学生福祉体験講座の様子

「標識や案内板に2次元バーコードを付け、外国語表記に変換します！」【小室中】

市内に設置している様々な案内看板の中には、すでに2次元バーコードがついていて、市ホームページにアクセスできるものもあります。例えば、ごみ収集ステーションの案内看板や、主要駅の周辺案内図、自転車等放置禁止区域の看板などです。

このうち、ごみ収集ステーションや避難所などの案内看板の2次元バーコードは、日本語のページにしかアクセスできませんでしたが、外国語（英語・韓国語・中国語・スペイン語・ベトナム語・ネパール語）に翻訳された案内にもアクセスできるよう対応しました。

また、JR船橋駅周辺とJR西船橋駅周辺に設置されている駅周辺案内地図には、地図に表示している絵文字（ピクトグラム）を、日本語・英語・中国語・韓国語で説明しているものもあります。

各施設で外国語表記が必要なものかどうかを考えて2次元バーコードの利用を推進していくほか、ホームページ上で外国語に翻訳された情報の充実を図ることなどにより、提案があった「外国の方に優しいまちづくり」を推進していきます。



バーコードがついた看板

5. 環境に優しく綺麗なまちに

船橋のまちを綺麗にするために、喫煙所やごみ集積場の整備などの提案がありました。また、地球規模で問題となっている温暖化防止のための提案もありました。

少しでも綺麗なまちになるように取り組んでいきたいと思います。

「ごみをゼロにします！」「たばこのポイ捨てを減らします！」【八木が谷中】【宮本中】【三山中】

現在、船橋市では毎年5月の最終日曜日を「クリーン船橋530（ごみゼロ）の日」、11月の第3日曜日を「船橋をきれいにする日」として市内全域で清掃活動を行っています。

そして、ごみ出しルールの周知やマナーの向上を図るために、ホームページ、広報ふなばし、町会・自治会での回覧チラシ、町会・自治会を通じて家庭ごみの出し方パンフレットの全戸配布、スマートフォン向けごみ分別アプリケーションの導入など、あらゆる機会を利用して啓発活動や情報発信を行っています。

清潔・安全・快適な生活環境づくりを目指して、平成16年10月に「路上喫煙及びポイ捨て防止条例」を施行し、市内全域の道路や公園などの公共の場所における、路上喫煙、ごみのポイ捨てを禁止しています。

併せて、人通りの多いJR船橋駅及びJR西船橋駅周辺を重点地域に指定し、違反した場合には、2千円の過料を科すこととしています。また、路上喫煙やポイ捨て禁止を呼びかける路面シートや看板などを、市内全域の歩道や道路に設置しています。



ポイ捨て、歩きタバコ禁止

「喫煙所の整備をします！」【芝山中】

喫煙所の設置については、過去に受動喫煙防止の観点から個室型、密閉型の喫煙所の設置について検討を行いましたが、用地の確保、設置箇所における構造上の問題、また強制換気が必要となる設備上の問題などがあり、設置には至りませんでした。しかし、喫煙所の設置は路上喫煙及びポイ捨て防止に有効であることから、今後、適した場所が確保された場合、設置についての検討をしていきたいと考えています。

「開閉式のごみ集積所を設けます！」【三山中】

船橋市では、住民が管理するごみ収集ステーションに集められたごみを、市が責任を持って回収しています。

市内には、約19,000箇所のごみ収集ステーションがあり、設置や維持管理につきましては、使用されている方や管理されている方が行っています。

また、道路上に構造物を設置することについては、通行の妨げになるなどの問題もあることから、市で開閉式のごみ集積所を設置することは難しいと考えます。

ごみ出しルールの周知やマナーの向上を図るために、ごみ出しカレンダーや啓発チラシ、町会などへの市の事業説明会、各地区のイベント、小学校での授業補助などあらゆる機会を利用して啓発活動や情報発信を行っています。また、ごみ収集ステーションを管理するうえで、問題や相談がある場合は、各

地区を担当する環境指導員が必要に応じて対応します。

「川をきれいにします！」「船だまりをきれいにします！」「【七林中】【湊中】

川をきれいにするためには、家庭から排出される水が適正に処理されている必要があり、広報紙やイベントなどで市民の皆様へ生活排水に関する啓発活動を実施しています。

飯山満川に生活排水が流れ込む区域については、下水道整備をすすめており、今後も計画的に整備を実施し、飯山満川の水質改善を目指します。

また、船だまりに生活排水が流れ込む区域についても、同様に下水道整備を実施し、船だまりの水質改善を目指します。

「放置自転車をなくすために無料の駐輪場をつくります！」「【船橋中】

市内には鉄道が9路線35駅あり、駅周辺の駐輪場は、通勤通学などの利用者の需要が非常に多く、まだまだ不足しています。

このことから、駐輪場の整備をすすめていますが、整備するためには、財源が必要なため、現段階では無料の駐輪場整備は難しいと考えています。



西船橋駅第十駐輪場イメージ図

「学校にソーラーパネルをつけます！」「【小室中】

ソーラーパネルは重く屋根に負荷がかかり、構造上、地震が起きたときの強さを保つために設置できない学校があります。

しかし、新しく建設したり、重さに耐えられるものについてはソーラーパネルの設置を検討しています。

6. スポーツをより身近に

スポーツができる場所がもっと欲しいという提案が多数ありました。その他にもスポーツイベントやオリンピック関連イベントの実施の提案もありました。施設の新設はなかなか難しいですが、工夫をしながら様々な事業を実施しています。

「市民全員がスポーツに親しめるまちにするために、体育施設の新設や体育館開放を行い、スポーツイベントを開催します！」「【海神中】【三山中】

平成28年度に「行田運動広場」と「高瀬下水処理場上部運動広場（タカスポ）」を整備し、平成30年度に「田喜野井ましかどスポーツ広場」を整備しました。

現在は、新しい体育施設の整備予定はありませんが、土地や場所など条件が合えば検討していきたいと思います。



少年少女交歓大会の様子

また、体育館の開放は現在、広報ふなばし、ホームページ、各施設の掲示などで周知を行っています
が、より周知できるよう検討します。

駅伝・マラソン大会や、スポーツの祭典や少年少女交歓大会など地区スポーツ振興事業として様々な
スポーツイベントを行っています。より多くの市民が参加できるように周知方法などの見直しを検討し
ます。

スポーツの祭典では参加人数が少なくなってきましたが、市内小学生にチラシを配布したことによ
り参加人数は2倍に増加しました。

「オリンピック正式種目以外の競技を開催します！」「子供オリンピックを開催します！」【旭中】

オリンピックに向けた機運の醸成の一環として、スポーツ振興という観点からオリンピック正式種目
以外の競技にも着目することは良いと思います。「国際的な競技大会の開催」については、時期や規模、
費用、またそれによりどのぐらい外国人観光客を呼び込めるのかなど慎重に検討しなければならない問
題があり、現在のところは難しいと考えています。

オリンピック・パラリンピックについては、まずは千葉県内で開催される正式種目などについての周
知を十分行っていくこと、また、船橋市はアメリカ男子体操チームの事前合宿地であるため、チームと
の交流を機に市の魅力を広めていくことなどが重要であると考えています。

毎年、市総体や新人戦を開催していますが、子供オリンピックという提案に対しては会場や期日など、
検討していく必要があります。

また、体育協会の加盟団体で市民大会をそれぞれの競技で行っていますので、現在実施している子供
が参加できる大会の周知をしていきます。

「芝生のついた屋内・屋外の運動施設を増やします！」【法田中】

芝生の運動施設として「法典公園（グラスポ）」の球技場（人工芝）と、「高瀬下水処理場上部運動広
場（タカスポ）」の多目的運動広場（人工芝）があります。

天然芝の整備や維持管理は多額の費用がかかることから、現状では新設や拡張は予定していませんが、
貴重な意見として公園の整備計画の参考にしていきたいと思います。

「運動能力及び技能の活性化を図るために、校庭の開放、人工芝化、緑地広場の建設を行います！」【葛 飾中】

学校活動の妨げにならない時間に、10人以上の団体がスポーツ活
動に利用できる学校開放事業があります。また、校庭ではありません
が、市内15箇所にあるまちかどスポーツ広場は自由に利用できる施
設ですので、是非利用してください。

校庭の人工芝生化は整備費用が多額となるため、限られた財源の中、
安全対策としての外壁改修工事などを優先して行っています。

砂埃対策としては、校庭散水栓設備（スプリンクラー）の整備をす
ずめています。

新しく公園を整備するためには、用地確保や地元との協議、調整な



ど多くの時間がかかります。提案のあったサッカーコート1面くらいの大きさの緑地広場の建設については、市の将来像における貴重な意見として公園の整備計画をすすめていく中で検討をしていきます。

「体育館やプールの休憩所を広くしエレベーターをつけます！」【御滝中】

運動公園プールの休憩所を広げることは難しいですが、日よけスペースをより多くするなど、小さい子供や高齢の方たちにも利用しやすいよう、工夫していきたいと思います。

今年度は、プールの休憩所を確保するためにテントを5張増設し、14張を確保したとともに、簡易テントの持ち込み可能スペースを設けました。

また、エレベーターを設置するには、その建物本体の大規模な改修が必要となるため、早急な対応は難しいですが、今後施設を更新する際には、意見を参考にしていきたいと思います。



運動公園プール

7. より良い公園に

今年も公園に関する提案が多数ありました。過去のこども未来会議室で「ボール遊びができる公園がほしい」という提案があり、平成28年度より市内5公園で試行事業を実施しています。

「幅広い世代を受け入れられる公園をつくります！」【古和釜中】

幅広い世代の人が楽しめる公園はコンセプトとしてとても大事だと思います。

新しく公園を整備する際や公園の改修を行う際には、バリアフリーに配慮した誰もが利用しやすい施設の整備を行っています。

また、遊具やトイレなど施設の整備については、公園を利用する地域の皆さんのご意見を伺いながら整備をすすめています。

「親子向けベンチを設置して公園を活性化させます！」【若松中】

公園を新たに整備する際や改修する際には、公園の規模を考慮しながら、誰でも、気軽に利用することができるベンチや日除け施設の四阿（あずまや）など、休憩施設を設置し、コミュニケーションの場として楽しめる公園を作りたいと思います。

「ボールを使える公園や充実した室内施設をつくります！」「ボールを使える公園を増やします！」「公園にバスケットゴールを設置します！」【習志野台中】【湊中】【海神中】

新しく公園を整備するには、用地の確保や地元との協議、調整など時間がかかります。提案のあった大きな公園を作り、公園内を広くしてボールを使える環境をつくり、安全で安心した環境をつくることについては、市の将来像における貴重な意見として、公園の整備計画をすすめていく中で検討していますが、室内運動施設を設置したり、既存施設を拡張する事は、費用が高額になる事からも難しいです。

ボールを使える公園については、平成26年度「こども未来会議室」で提案を受けて、平成28年度より市内5公園で試行事業を実施しています。ルール作りなどの要件を整理し実施可能な公園の候補選

定を行っていきます。

バスケットゴールの設置が可能な公園の候補地を調査していますが、住宅が隣接している公園や規模の小さな公園が多く、ボールの音などの騒音や他の公園利用者の安全を確保するために十分なスペースが必要となるので、引き続き候補地を検討します。

「三番瀬海浜公園にランニングコースをつくり、スズキマラソンを行います！」【坪井中】

人工海浜は野鳥や生物を観察して楽しむための場所として、市内外の方から広く親しまれているため、ランニングコースを設置すると、野鳥が驚いてしまい、また野鳥観察などの妨げになってしまうと考えられることから人工海浜へのランニングコース設置は難しいと考えていますが、スズキマラソンの提案については、船橋市陸上競技協会へ提案内容をお伝えします。マラソンについて計画が具体的にできれば三番瀬海浜公園の使用について検討していきます。



三番瀬海浜公園

8. 学校をより良い環境に

部活動へのサポート、学校生活での問題点の改善、給食のアピールなどの提案がありました。どうしたら今以上により良くなるのか、現在行っている事業を含めて考えていきます。

「部活動での移動費に対して支援を行います！」【三田中】

船橋市では現在、県大会・関東大会・全国大会への交通費などを補助しています。また、収入が十分でない家庭に対しても部活動の補助をしています。

部活動の移動時だけに使えるとしたら、どうやってそれを確認するのか、バス会社・鉄道会社とどう協力するのが難しいと思いますが、競技力向上につながる可能性もあるので、研究したいと思います。

「教科書をタブレットにします！」【芝山中】

タブレット整備には膨大な予算が必要になります。その予算をタブレットの他、電子黒板やパソコンなど、どれに使えるかよいのかを考えていく必要があるかと思います。タブレットについてはモデル校で使った例があり、今後こういった機器を使えば最も有効なのかを研究していきます。

「塾のような学習環境を学校でつくります！」【御滝中】

学校での勉強では理解できなくて、塾に行ってはじめて理解できたというのは、学校では質問しづらいと感じたのかもしれませんが。

塾そのものの機能を学校に持たせることは難しいと思いますが、先生も皆さんが理解できるよう一生懸命授業をしているので、分からないことがあれば先生に聞いてもらえればちゃんと答えてくれますし、学校図書館には学校司書の資格を持った職員を配置していますので気軽に質問してください。

「給食フェスを開催します！」【二宮中】

船橋市では、毎年「学校給食展」を開催して、船橋の学校給食の魅力について啓発しています。今回の素晴らしい提案を受け、今後中学生の参加の可能性について考えたいと思います。



学校給食展の様子

「スマートフォン依存症をなくします！」【御滝中】

現在、スマートフォンの利用については各学校と保護者でのルール作りがされています。また、スマートフォンに関する問題については、各学校で講演会を開くなどの対応を行っています。しかしながら、スマートフォンの使い方まで市が決めてしまっているのかという問題もあります。ルールを社会で決めるのか、個人で責任をもって決めるのかは大事な事なので色々なことに関心をもってもらえればと思います。

「新しいイベントホールがほしい、文化ホールを綺麗にします！」【行田中】

市民文化ホールについては老朽化が進んできており、今後も市民のみなさんに使い続けていただくためには、施設の改修や建替えなどを考える必要があります。

その場合、市の財政状況や建替える場合は場所や規模、利用対象者層など、様々な観点から検討を行う必要があるため、時期については現在のところ未定です。

当面は舞台装置、音響、照明設備機器の更新なども計画的にすすめ、現在の施設を維持して使用していきたいと考えています。

9. 北部地域を活気づける

船橋市の北部地域はアンデルセン公園をはじめ、自然豊かな地域です。その北部地域をより便利に、より活気があるまちにしようという提案がありました。

「北部地域の再開発をします！」【豊富中】

北部地域は、市の中でも特に農業が盛んで自然豊かな地域です。まちづくりの大きな方針として、ショッピングモールは概ね駅の周辺に建設が可能となっていることから、国道16号線とアンデルセン公園の間にはショッピングモールを作ることは難しいですが、そのことが北部地域の魅力である自然が豊かな地域を維持することにつながっていると考えています。

豊富から国道16号線を越えた小室の駅前に、北千葉道路という道路があります。この道路は市川市から成田市を結ぶ国道ですが、現在は、まだ工事中の区間があります。この道路が完成したら交通の便がよくなり、他の地域からも人が訪れたり、お店などが増え活性化していくことなども期待できますので、その状況を見守っていきたいと思います。

「アンデルセン公園をより多くの人に利用してもらいます！」【千葉日本大学第一中】

具体的な提案として、「今以上に各駅に案内図を置く」、「バスを待つ場所の整備」、「自転車の貸し出し」、「メグSPAへの案内」、「道の駅の整備」が提案されました。

案内図については、現在、看板を設置している箇所はありますが、行き方が分かりやすいような看板またはパンフレットの設置などを検討します。

鉄道で来園される方に対しては、アンデルセン公園の最寄りの新京成電鉄三咲駅構内から、アンデルセン公園行きのバス乗り場などの案内シートを足元に貼る等の対応を行っています。また、車で来園される方に対しては、道路の要所に大型案内看板を設置しています。今後は、新京成電鉄などと協議しパンフレットの設置について検討します。

バス停の屋根・ベンチの整備については、歩道幅員など一定条件を満たす箇所で、周辺の高齢者人口が多く、高齢者率が高いバス停を優先整備箇所として整備を行っています。また、整備を効率的にすすめるため、該当するバス停留所に近い町会や自治会などから要望箇所を募集し、要望のあった箇所から優先的に整備を行っています。

自転車の貸し出しについては、交通混雑の緩和や駅周辺への移動しやすさなどのメリットはあると考えていますので、貸し出しをする場合の需要把握や課題整理をしていきたいと思っています。

メグSPAへの案内については、アンデルセン公園にメグSPAのポスターを掲示したり、ホームページに相互リンクのバナーを貼るなどの他、アンデルセン公園のクリスマス抽選会の景品としてメグSPAの回数券を提供しています。また、アンデルセン公園の当日入場券を提示して、メグSPA食堂で食事を注文された方には、ドリンクを1杯無料にするなどのサービスも行っています。今後も引き続きアンデルセン公園との連携をしていきます。

「道の駅」を作るためには、国等の様々な基準や要件を満たす必要があるほか、その道の駅に色々な人が来てくれるための道路が整備されている必要があります。

アンデルセン公園までの道のりに道の駅を作ることについては、他の様々な地域と船橋市を結ぶ北千葉道路の整備の状況を見て検討をしていく必要がありますが、北千葉道路の整備事業完了にはまだ時間がかかる見込みのため、現在のところ、具体的な道の駅建設の予定はありません。



アンデルセン公園

「船橋の北部と南部を繋ぐ路線を整備します！」「循環バスを走らせます！」【習志野台中】【豊富中】

現在、船橋には多くの鉄道が走っていますが、北部と南部を繋ぐ路線はありません。そんな路線があれば本当に便利だと思いますが、人が多く住んでいる所には線路は通せませんし、近隣市との兼ね合いも出てくるので実現させるのはとても大変です。

公共施設間を連絡するバスの運行方法として、市が主体となってコミュニティバスを運行する方法が考えられますが、運行にかなりの経費がかかることや、特定の地域で運行を行う事は公平性が失われることから難しい状況です。

10. 海老川を整備し有名に

今年度は、海老川の歴史や海老川そのものを多くの人に知ってもらうために、様々な提案がありました。

「アジサイを植えます！」【高根中】

現在アジサイを植樹している箇所がありますが、既に植えているものの植え替えを検討します。

現在植えてある箇所もあるので、さらにアジサイを植栽する際には提案内容について検討し、配置や連続性などを考慮したいと思います。

「料理コンテストやフリーマーケットなどのイベントを行います！」【高根中】

料理コンテストの開催については、食材、調理法、調理を行う環境、管理法などの衛生面での保健所の許可を得るための基準などが厳しいため、現状での実現は難しいと考えています。

市民団体が開催している船橋海老川親水市民まつりにおいて、既にフリーマーケットや地元の店舗が出店していますので主催団体に今回の提案を情報提供します。また、海老川沿いでは、多くの方が参加する春の桜ライトアップ、秋の海老川・長津川福像めぐりというイベントを開催している団体もありますので、各イベントの主催者に情報提供します。



海老川親水市民まつり

「駐車場、トイレの整備を行います！」【高根中】

特設の駐車場を周辺につくることは、砂利などを入れて固めるなどの整備が必要なため難しいと考えます。

海老川沿いにあるトイレは平成29年度に改修を行い、和式から洋式に便座も変えました。ただし、既存の建屋を利用したため、提案のありましたおむつ台などの設備を設置することが出来ませんでしたので、今後の建替えの際には検討していきます。

「海老川マラソンを開催します！」「海老っ子人形劇を開催します！」【高根台中】

現在3つの駅伝・マラソン大会を開催していますが、実施するにあたり陸上競技協会をはじめ、多くのボランティアの方々にお手伝いいただいています。そのため、すぐに開催するのは難しいですが、陸上競技協会へ提案内容をお伝えします。

海老川だけをテーマにした人形劇の開催は難しいですが、市内の人形劇サークルや読み聞かせ団体などに、小さい子供にわかりやすく船橋の伝統文化を伝えられる場を設けられないか、働きかけることを検討します。

実現した提案

【提案】「梨フェスティバル」を開催します！

実現

平成29年8月29日に「なし味自慢コンテスト」の名称を変更して拡充された市制施行80周年記念「なしフェスティバル」がららぽーとTOKYO-BAYで盛大に開催され、たくさんのお客様がいらっしゃいました！



【提案】街灯を増やして暗い道を明るくします！

実現

「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定して、通学路を中心に暗く危険と思われる箇所から設置工事をすすめています！

【提案】ボール遊びができる公園をつくれます！

実現

検討委員会を開催し、数箇所の公園で試験的にボール遊びができるようになりました！



【提案】あいさつ運動を推進します！

実現

94%の学校であいさつ運動を実施するようになりました！



様々な素晴らしい提案を、元気よく発表してくれてありがとうございました！

皆さんの提案を受けて、たくさんの新しい発見がありました。過去の「こども未来会議室」でいただいた提案の中から、実現したものも出てきています。

皆さんからいただいた提案をもとに、船橋市がより住みよいまちになるよう、全力で取り組んでいきます！

平成30年度「こども未来会議室」報告書

編集：「こども未来会議室」プロジェクト

事務局：船橋市役所 市長公室 市民の声を聞く課

発行年月日：平成31年4月